



## 2023年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月10日

上場会社名 三洋貿易株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3176 URL <https://www.sanyo-trading.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新谷 正伸  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部門担当取締役 (氏名) 白井 浩 (TEL) 03-3518-1111  
 四半期報告書提出予定日 2023年5月11日 配当支払開始予定日 2023年6月14日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年9月期第2四半期の連結業績(2022年10月1日～2023年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第2四半期	61,918	22.5	3,790	28.7	3,751	2.3	2,517	△7.0
2022年9月期第2四半期	50,539	11.0	2,945	△19.0	3,666	△8.8	2,706	1.4

(注) 包括利益 2023年9月期第2四半期 2,549百万円(△21.8%) 2022年9月期第2四半期 3,260百万円(△1.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第2四半期	87.62	87.04
2022年9月期第2四半期	94.31	93.67

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第2四半期	65,656	41,170	62.0
2022年9月期	62,859	39,212	61.7

(参考) 自己資本 2023年9月期第2四半期 40,735百万円 2022年9月期 38,760百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	19.00	—	21.00	40.00
2023年9月期	—	21.00			
2023年9月期(予想)			—	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日～2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	128,000	15.1	6,500	22.2	6,800	7.9	4,500	4.7	156.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年9月期2Q	29,007,708株	2022年9月期	29,007,708株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年9月期2Q	237,361株	2022年9月期	284,120株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年9月期2Q	28,731,503株	2022年9月期2Q	28,694,236株
------------	-------------	------------	-------------

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する政策的規制緩和により、社会活動の正常化に向けた動きが見られるものの、世界的なインフレによる各国の金融政策の引き締め、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、中国経済の回復の遅れ、為替の急激な変動など、依然として先行き不透明な状況が続いています。当社のビジネスにおいても、原材料の高騰や供給不足による仕入価格の上昇、および円安による輸入在庫価格の上昇などの影響が出ています。一方で、当社スローガンである「最適解への挑戦」の通り、環境配慮型の新規商材等の販売や脱炭素分野への技術・事業への投資を進めるなど、未来に向けた取り組みも加速させています。

このような環境下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、61,918百万円（前年同四半期比22.5%増）となり、営業利益は3,790百万円（前年同四半期比28.7%増）、経常利益は3,751百万円（前年同四半期比2.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,517百万円（前年同四半期比7.0%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

#### ①化成品

ゴム関連商品は、合成ゴムや配合剤で好調を継続したものの、欧米からの輸入品の仕入価格高騰や一部商材の一時的な不調による影響を受けました。化学品関連商品は、他社から移管を受けた新規取扱商材が1月から立ち上がるなど、売上は順調に推移しましたが、主力商材の一部が円安による仕入価格高騰の影響を受け、利益は前年同四半期並みとなりました。ライフサイエンス関連商品は主力の電材及び香料、染料は好調でしたが、中国経済の景況感悪化を受け、リチウムイオン電池用関連部材は苦戦しました。

この結果、売上高は19,975百万円（前年同四半期比9.8%増）、セグメント利益（営業利益）は1,157百万円（前年同四半期比7.2%減）となりました。

#### ②機械資材

産業資材関連商品は、半導体・部品不足等に起因する日系自動車メーカーの減産の影響が一服し、堅調に推移しました。機械・環境関連商品は、飼料加工機器関連では消耗品は堅調に推移しましたが、本体案件の計上が少なく苦戦しました。木質バイオマス関連事業も本体物件の計上なく業績は低調でした。科学機器関連商品は、大型案件納入と3月の想定を超える本体納入が利益貢献しました。2022年2月に株式を譲り受けた㈱スクラムが取扱うバイオ関連機器は堅調に推移し、前年同四半期比で利益貢献しました。コスモス商事㈱が取扱う資源開発関連商品は地熱開発機材が好調を継続し、石油・ガス関連機材も好調でした。また、海洋開発分野では洋上風力発電関連機材が伸長しました。㈱ワイピーテックが取扱う機能性飼料原料は主力製品の原材料の価格高騰が一服したことから、利益率が回復し復調しました。

この結果、売上高は24,103百万円（前年同四半期比43.9%増）、セグメント利益（営業利益）は2,625百万円（前年同四半期比62.8%増）となりました。

#### ③海外現地法人

Sanyo Corporation of Americaは、自動車生産台数減少の影響を一部受けたものの、化成品商材は堅調な需要および輸送コストの低下などにより利益に貢献しました。三洋物産貿易（上海）有限公司は、中国国内の景気低迷の影響を受け低調でした。Sanyo Trading Asia Co., Ltd.（タイ）は、自動車関連商材は特需により伸長しましたが、その他の商材においては販売費の増加等の影響受け、業績は前年同期と横ばいとなりました。Sun Phoenix Mexico, S.A. de C.V.は、為替差損の影響等で業績は低調に推移しました。Sanyo Trading India Private Limitedは、為替差損の影響を受けたものの、業績は前年同期から微増となりました。Sanyo Trading (Viet Nam) Co., Ltd.は、遮熱塗料などの販売は好調だったものの、ベトナム工業全体の落ち込みの影響を受け、業績は低調でした。

この結果、売上高は17,367百万円（前年同四半期比11.9%増）、セグメント利益（営業利益）は701百万円（前年同四半期比2.5%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

流動資産は、現金及び預金、売上債権や棚卸資産が増加したこと等から前連結会計年度末比1,442百万円増加し、56,575百万円となりました。

固定資産は、第1四半期連結会計期間に株式を取得し連結子会社化した㈱コスモ・コンピューティングシステムに係るのれんの計上や投資有価証券の購入や時価の上昇、投資等により投資その他の資産が増加したことにより前連結会計年度末比1,355百万円増加し、9,081百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における総資産は65,656百万円（前連結会計年度末比2,797百万円の増加）となりました。

### (負債)

流動負債は、仕入債務の支払いで減少したものの、短期借入金や賞与引当金の増加等によって前連結会計年度末比674百万円増加し、22,687百万円となりました。

固定負債は、投資有価証券の時価上昇に伴う繰延税金負債の増加等によって前連結会計年度末比164百万円増加し、1,798百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における負債は24,485百万円（前連結会計年度末比838百万円の増加）となりました。

### (純資産)

親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による株主資本の増加に加え、投資有価証券の時価上昇に伴うその他有価証券評価差額金が増加しました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における純資産は41,170百万円（前連結会計年度末比1,958百万円の増加）となりました。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末比499百万円増加し、6,218百万円となりました。

#### ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,189百万円の収入（前年同四半期比2,408百万円の増加）となりました。売上債権及び契約資産の増減額や前渡金の増減額が減少したこと等によるものです。

#### ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,166百万円の支出（前年同四半期比402百万円の増加）となりました。主に㈱コスモ・コンピューティングシステム（連結子会社）の株式取得に係る支出によるものです。

#### ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、548百万円の収入（前年同四半期比179百万円の増加）となりました。親会社による配当金支払いがありましたが、金融機関借入金を増やしたこと等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月期連結業績予想につきましては、2022年11月8日発表の通期予想から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,879,997	6,370,800
受取手形、売掛金及び契約資産	21,968,319	22,499,921
電子記録債権	2,040,364	2,375,106
商品及び製品	23,067,033	23,063,262
仕掛品	1,114	34,259
原材料及び貯蔵品	57,256	158,234
その他	2,178,789	2,159,017
貸倒引当金	△59,788	△85,514
流動資産合計	55,133,087	56,575,087
固定資産		
有形固定資産	3,340,011	3,295,637
無形固定資産		
のれん	342,767	696,192
その他	201,701	173,564
無形固定資産合計	544,468	869,757
投資その他の資産		
投資有価証券	2,701,376	3,246,429
その他	1,170,707	1,700,231
貸倒引当金	△30,142	△30,453
投資その他の資産合計	3,841,940	4,916,207
固定資産合計	7,726,420	9,081,602
資産合計	62,859,507	65,656,689

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,767,354	11,504,126
短期借入金	5,823,164	6,914,774
1年内返済予定の長期借入金	69,960	59,940
未払法人税等	1,057,555	1,343,192
引当金	135,716	519,109
その他	2,159,347	2,346,577
流動負債合計	22,013,097	22,687,721
固定負債		
長期借入金	177,087	164,589
引当金	75,478	67,685
退職給付に係る負債	954,926	984,386
その他	426,252	581,451
固定負債合計	1,633,744	1,798,112
負債合計	23,646,842	24,485,833
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,006,587	1,006,587
資本剰余金	397,298	413,503
利益剰余金	35,502,368	37,416,624
自己株式	△136,678	△114,206
株主資本合計	36,769,575	38,722,509
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	796,488	1,073,950
為替換算調整勘定	1,193,967	938,648
その他の包括利益累計額合計	1,990,456	2,012,598
新株予約権	116,566	96,603
非支配株主持分	336,066	339,145
純資産合計	39,212,665	41,170,856
負債純資産合計	62,859,507	65,656,689

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年10月1日 至2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年3月31日)
売上高	50,539,330	61,918,233
売上原価	42,236,257	51,404,345
売上総利益	8,303,073	10,513,887
販売費及び一般管理費	5,357,965	6,723,827
営業利益	2,945,107	3,790,060
営業外収益		
受取利息	8,569	4,452
受取配当金	38,669	46,252
為替差益	603,327	—
その他	88,600	79,005
営業外収益合計	739,166	129,710
営業外費用		
支払利息	9,712	57,442
売上債権売却損	4,488	6,805
為替差損	—	86,383
その他	3,965	17,753
営業外費用合計	18,166	168,384
経常利益	3,666,108	3,751,386
特別利益		
投資有価証券売却益	—	220,064
負ののれん発生益	360,832	—
特別利益合計	360,832	220,064
税金等調整前四半期純利益	4,026,940	3,971,450
法人税等	1,311,002	1,443,983
四半期純利益	2,715,937	2,527,466
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,812	10,022
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,706,125	2,517,444



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	2,715,937	2,527,466
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△60,788	277,509
為替換算調整勘定	605,654	△255,317
その他の包括利益合計	544,865	22,192
四半期包括利益	3,260,802	2,549,659
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,251,229	2,539,586
非支配株主に係る四半期包括利益	9,573	10,072

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,026,940	3,971,450
減価償却費	206,768	214,914
のれん償却額	93,278	403,536
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△635	2,540
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△36,672	29,249
その他の引当金の増減額 (△は減少)	312,199	351,098
受取利息及び受取配当金	△47,238	△50,704
支払利息	9,712	57,442
為替差損益 (△は益)	△209,619	147,177
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△219,380
負ののれん発生益	△360,832	—
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△3,848,765	△886,709
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△16,561	△319,315
仕入債務の増減額 (△は減少)	376,055	△1,145,078
契約負債の増減額 (△は減少)	△20,433	△112,393
前渡金の増減額 (△は増加)	△504,205	102,280
その他	△212,022	△244,769
小計	△232,033	2,301,338
利息及び配当金の受取額	47,316	50,480
利息の支払額	△10,681	△53,372
法人税等の支払額	△1,023,716	△1,108,588
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,219,114	1,189,858
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△96,170	△103,320
定期預金の払戻による収入	65,200	98,400
有形固定資産の取得による支出	△57,206	△63,994
無形固定資産の取得による支出	△1,898	△60,869
投資有価証券の取得による支出	△6,489	△143,792
投資有価証券の売却による収入	—	259,676
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,504,345	△604,724
子会社株式の条件付取得対価の支払額	—	△68,058
その他	31,564	△479,852
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,569,345	△1,166,536

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	960,103	1,191,946
長期借入金の返済による支出	△20,435	△22,518
配当金の支払額	△573,851	△603,195
非支配株主への配当金の支払額	△7,863	△6,994
その他	11,105	△10,456
財務活動によるキャッシュ・フロー	369,058	548,782
現金及び現金同等物に係る換算差額	240,457	△85,987
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,178,943	486,117
現金及び現金同等物の期首残高	8,663,587	5,718,897
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	120,371	13,265
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,605,016	6,218,280

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年1月16日開催の取締役会における決議に基づき、2023年2月7日に譲渡制限付株式報酬として自己株式17,200株を処分しました。この処分等により自己株式は22,472千円減少し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式は114,206千円となっています。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自2021年10月1日至2022年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	化成品	機械資材	海外 現地法人	計				
売上高								
外部顧客への売上高	18,200,441	16,748,536	15,522,766	50,471,744	54,104	50,525,849	13,481	50,539,330
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,199,884	424,006	1,077,606	3,701,497	30,068	3,731,566	△3,731,566	—
計	20,400,326	17,172,542	16,600,373	54,173,242	84,173	54,257,416	△3,718,085	50,539,330
セグメント利益 又は損失(△)	1,246,577	1,612,772	719,757	3,579,108	△87,848	3,491,259	△546,151	2,945,107

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでいます。

2. 調整額は、以下のとおりです。

(1) 外部顧客への売上高の調整額13,481千円は、管理会計との為替調整額です。

(2) セグメント利益又は損失の調整額△546,151千円には、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費△375,011千円、管理会計との為替調整額△148,621千円が含まれています。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(負ののれん発生益)

「機械資材」セグメントにおいて、㈱スクラムの株式を新たに取得し連結子会社としたことに伴い、負ののれんが発生しています。当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては360,832千円です。

なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれていません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2022年10月1日至2023年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	化成品	機械資材	海外 現地法人	計				
売上高								
外部顧客への売上高	19,975,224	24,103,999	17,367,245	61,446,469	387,663	61,834,132	84,101	61,918,233
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,336,350	464,716	1,179,710	3,980,776	78,243	4,059,020	△4,059,020	—
計	22,311,574	24,568,715	18,546,956	65,427,246	465,906	65,893,153	△3,974,919	61,918,233
セグメント利益 又は損失(△)	1,157,289	2,625,045	701,901	4,484,236	△152,244	4,331,991	△541,931	3,790,060

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業および不動産賃貸業等を含んでいます。

2. 調整額は、以下のとおりです。

(1) 外部顧客への売上高の調整額84,101千円は、管理会計との為替調整額です。

(2) セグメント利益又は損失の調整額△541,931千円には、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費△497,652千円、管理会計との為替調整額△224,082千円、その他の連結調整額179,803千円が含まれています。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、㈱コスモ・コンピューティングシステムの株式を取得し、連結子会社としたことにより、「その他」セグメントにおいて、のれん438,082千円を計上しています。また、当第2四半期連結会計期間において、前連結会計年度に行いました㈱スクラムの全株式の取得に係る条件付き取得対価の追加支払が発生し

たことにより、「機械資材」セグメントにおいて、のれん26,106千円を計上しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	合計
	化成品	機械資材	海外 現地法人	計			
日本	15,229,118	14,506,186	70,384	29,805,688	54,104	-	29,859,792
アジア	2,395,491	593,359	8,214,514	11,203,364	-	-	11,203,364
北米	429,952	669,342	6,593,792	7,693,086	-	-	7,693,086
その他	145,879	979,647	644,075	1,769,601	-	-	1,769,601
顧客との契約から生 じる収益	18,200,441	16,748,536	15,522,766	50,471,744	54,104	-	50,525,848
その他の収益	-	-	-	-	-	13,481	13,481
外部顧客への売上高	18,200,441	16,748,536	15,522,766	50,471,744	54,104	13,481	50,539,330

- (注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでいます。  
 2. 調整額は、管理会計との為替調整額です。  
 3. 顧客との契約から生じる収益は、販売先の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	合計
	化成品	機械資材	海外 現地法人	計			
日本	17,094,142	22,279,916	64,585	39,438,644	387,663	-	39,826,307
アジア	2,251,519	545,134	8,103,122	10,899,775	-	-	10,899,775
北米	380,252	866,178	8,390,254	9,636,684	-	-	9,636,684
その他	249,309	412,769	809,282	1,471,360	-	-	1,471,360
顧客との契約から生 じる収益	19,975,224	24,103,999	17,367,245	61,446,469	387,663	-	61,834,132
その他の収益	-	-	-	-	-	84,101	84,101
外部顧客への売上高	19,975,224	24,103,999	17,367,245	61,446,469	387,663	84,101	61,918,233

- (注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業および不動産賃貸業等を含んでいます。  
 2. 調整額は、管理会計との為替調整額です。  
 3. 顧客との契約から生じる収益は、販売先の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。